



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニチイ学館

コード番号 9792 URL <http://www.nichiigakkan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 正俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理・財務本部長 (氏名) 寺田 孝一

TEL 03-3291-2121

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	188,265	4.2	8,654	39.9	8,633	25.9	3,903	39.7
23年3月期第3四半期	180,643	2.2	6,187	28.6	6,856	41.5	2,794	23.6

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 3,921百万円 (42.3%) 23年3月期第3四半期 2,755百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	56.52	—
23年3月期第3四半期	40.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	147,494	55,430	37.4
23年3月期	125,781	52,200	41.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 55,162百万円 23年3月期 51,944百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年3月期	—	8.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	253,700	5.3	11,000	39.8	11,700	21.1	5,700	63.9	82.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	73,017,952 株	23年3月期	73,017,952 株
24年3月期3Q	3,574,601 株	23年3月期	3,956,331 株
24年3月期3Q	69,061,330 株	23年3月期3Q	69,062,224 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

ニチイグループを取り巻く事業環境は、社会保障の機能強化や安定財源確保、経済成長との好循環の実現等を目指し、「社会保障と税の一体改革」の議論が進められております。改革案では、子ども・子育て支援の強化、医療・介護の連携による在宅ケアの強化、消費税の引き上げを含む税制改革等に重点が置かれ、中長期的に持続可能な「全世代対応型」の社会保障制度の再構築を目指した方針案が示されました。

平成24年4月に実施される診療・介護報酬の同時改定におきましては、これらの方向性を踏まえ、平成23年12月21日に全体の改定率が決定し、診療報酬改定は急性期医療の提供体制維持や在宅医療の充実等を図るべくプラス0.004%（本体プラス1.38%、薬価マイナス1.38%）、介護報酬は介護職員の処遇改善の確保、地域包括ケアの推進等を踏まえ、プラス1.2%（在宅プラス1.0%、施設プラス0.2%）の改定となりました。

このような事業環境の中、ニチイグループにおきましては、収益をより安定的に成長させる事業構成バランスに改良すべく、既存事業の一層の強化や業務効率の改善等に加え、医療関連事業における経営支援サービスの拡充や、ヘルスケア事業における介護保険外サービスの拡充、保育事業における企業内保育所の受託促進等、新たなサービス展開に注力してまいりました。

教育事業においては、英会話スクールを運営する「株式会社GABA（以下GABA）」の株券等に対する公開買い付けによる取得（96.59%）及び残余についての自己株式との株式交換により、発行済み株式の100%を取得し、平成23年12月5日付でGABAを完全子会社化いたしました。語学事業への本格参入は、当社が取り組む新サービスの展開において競争優位の源泉として必要不可欠なものであり、語学事業を活かした積極的なサービス展開により、各事業において事業領域の拡大と事業基盤の強化に繋げてまいります。

経営成績につきましては、在宅系・居住系介護サービスの利用者数が順調に増加したことや、医療関連事業、ヘルスケア事業において業務効率の更なる改善が進んだことに加え、GABAの経営成績が10月より連結決算に組み入れられ、10月から12月までの3ヵ月間の業績が反映されたことにより、第3四半期においては、更なる増収となり、利益水準についても大幅改善となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は188,265百万円（前年同期は180,643百万円）、営業利益は8,654百万円（前年同期は6,187百万円）、経常利益は8,633百万円（前年同期は6,856百万円）となりました。また、四半期純利益は、法人税率変更に伴う繰延税金資産の取り崩し370百万円を実施したこと等により、3,903百万円（前年同期は2,794百万円）となりました。

なお、セグメント別の状況は以下のとおりです。

<医療関連部門>

医療関連部門につきましては、利益とのバランスを重視した売上拡大を推進しており、契約病院における業務範囲の拡大を推し進めてまいりました。

新規契約の獲得では、医療・介護連携支援、医療経営分析等の各種経営支援サービスを足がかりとした営業活動を推進しており、民間病院の契約件数が増加傾向にあります。

利益面では、スタッフへの処遇改善を継続的に進めるなか、スタッフ定着率・スキルの向上による業務効率の改善が進み、増益基調を迎っております。

経営支援サービスの拡充では、WEB・モバイル連動型患者満足度調査『メディボイス』（平成24年1月サービス開始）等の新商品の開発に注力したほか、国際医療交流支援サービスの展開準備等を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は77,242百万円（前年同期は77,113百万円）、営業利益は6,266百万円（前年同期は4,910百万円）となりました。

<ヘルスケア部門>

ヘルスケア部門につきましては、介護拠点の新規開設と、既存拠点の稼働率向上の推進により、在宅系介護サービス・居住系介護サービスともに利用者数が堅調に増加し、市場成長率を上回る水準での増収トレンドが続いております。

利益面では、拠点開設にともなう先行費用が発生するなか、利用者数の増加に伴う拠点稼働率の向上や、利益水準の高い介護保険外サービスの拡大により増益となり、中価格帯有料老人ホームを展開する子会社「株式会社ニチイケアパレス」においても、6月以降黒字基調を迎える等、収益改善に寄与いたしました。

第3四半期連結累計期間における新規拠点開設状況は、在宅系介護サービスでは居宅介護支援事業所が38ヵ所（全732ヵ所）、訪問介護事業所が33ヵ所（全1,055ヵ所）、通所介護事業所が24ヵ所（全318ヵ所）、福祉用具貸与事業所が3ヵ所（全135ヵ所）、訪問看護事業所は19ヵ所（全21ヵ所）開設いたしました。居住系介護サービスでは、ニチイのほほえみを22ヵ所（全239ヵ所）、ニチイのきらめきを5ヵ所（全39ヵ所）、ニチイホームを1ヵ所（全49ヵ所）開設いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は100,157百万円（前年同期は92,931百万円）、営業利益は7,527百万円（前年同期は5,125百万円）となりました。

<教育部門>

教育部門につきましては、有効求人倍率が緩やかながら改善するなか、主力講座である「ホームヘルパー2級講座」「医療事務講座」の受講生数は前年同期比で減少が続いております。

語学事業につきましては、GABAのマンツーマン英会話レッスンの受講生数が計画を上回って推移しており、収益の安定化に貢献し始めております。今後も、グローバル化に伴う語学習得ニーズの更なる高まりが予想されることから、当社の経営資源を活かした機動的な事業展開により、収益の安定成長を実現してまいります。

新規講座の展開につきましては、医薬分業の進展による院外処方率の上昇等や、医療・介護分野における在宅支援の推進により、調剤薬局の重要性が増しており、調剤薬局事務を専門とした人材のニーズも高まっていることから、「調剤薬局事務講座」を開発（平成24年1月開講）したほか、『Webカレッジ』を活用した新たな講座の開発・提供についても、引き続き注力してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は10,614百万円（前年同期は10,159百万円）、営業利益は714百万円（前年同期は1,573百万円）となりました。

<その他>

その他の部門につきましては、平成23年4月に、「感動」「癒し」を提供する『レイクウッズガーデンひめはるの里』（千葉県茂原市）を開設し、パーク内における各種イベントの開催や、ヘルスケア事業と連携したドッグセラピー・ガーデニングセラピーの展開準備を推進いたしました。

また、レイクウッズガーデン関連商品や、その他取扱商品の販売を強化したことで、収益が改善しており、第3四半期のみの損益は営業黒字となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は249百万円（前年同期は439百万円）、営業損失は248百万円（前年同期は営業利益45百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ21,713百万円増加し、147,494百万円となりました。主な要因は、株式会社GABAを新規連結したことに伴う有価証券などの増加により流動資産が5,640百万円増加し、のれんの増加などにより固定資産が16,072百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ18,483百万円増加し、92,064百万円となりました。主な要因は、長期借入金の増加などにより固定負債が12,339百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3,230百万円増加し、55,430百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年11月7日に発表した連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,912,556	5,320,117
受取手形及び売掛金	29,891,605	31,677,488
有価証券	—	1,900,200
商品及び製品	404,983	524,664
仕掛品	4,283	9,466
原材料及び貯蔵品	278,660	325,317
その他	9,728,268	10,084,331
貸倒引当金	△56,829	△37,515
流動資産合計	44,163,528	49,804,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,596,675	27,106,865
その他(純額)	13,730,227	19,947,851
有形固定資産合計	40,326,903	47,054,716
無形固定資産		
のれん	13,564,666	21,817,893
その他	5,453,793	4,951,961
無形固定資産合計	19,018,460	26,769,854
投資その他の資産		
その他	23,331,685	24,889,844
貸倒引当金	△1,059,406	△1,023,923
投資その他の資産合計	22,272,279	23,865,921
固定資産合計	81,617,643	97,690,492
資産合計	125,781,172	147,494,564
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	979,919	1,050,637
短期借入金	1,318,002	1,000,000
未払法人税等	3,538,277	1,208,524
未払費用	14,457,396	16,833,700
賞与引当金	4,223,744	2,639,247
役員賞与引当金	35,100	—
その他	15,003,932	22,968,548
流動負債合計	39,556,372	45,700,658
固定負債		
長期借入金	18,991,565	24,696,830
退職給付引当金	4,428,149	4,725,048
役員退職慰労引当金	157,921	161,112
資産除去債務	1,233,067	1,544,441
その他	9,213,699	15,235,989
固定負債合計	34,024,403	46,363,422
負債合計	73,580,776	92,064,080

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,933,790	11,933,790
資本剰余金	17,354,214	17,354,214
利益剰余金	29,492,922	32,062,944
自己株式	△6,789,290	△6,133,660
株主資本合計	51,991,637	55,217,288
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△46,849	△54,998
その他の包括利益累計額合計	△46,849	△54,998
少数株主持分	255,608	268,194
純資産合計	52,200,395	55,430,483
負債純資産合計	125,781,172	147,494,564

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	180,643,444	188,265,291
売上原価	144,484,659	148,919,725
売上総利益	36,158,785	39,345,565
販売費及び一般管理費	29,970,822	30,690,767
営業利益	6,187,962	8,654,798
営業外収益		
受取利息	83,735	106,491
受取事務手数料	86,828	86,228
受取賃貸収入	165,180	166,435
雇用創出事業受託料	522,468	163,500
補助金収入	132,388	166,025
その他	190,711	123,264
営業外収益合計	1,181,313	811,945
営業外費用		
支払利息	436,041	718,606
賃貸費用	38,858	42,111
その他	38,030	72,944
営業外費用合計	512,930	833,661
経常利益	6,856,345	8,633,082
特別利益		
固定資産売却益	210	—
賞与引当金戻入額	111,148	—
投資有価証券売却益	5,119	3,871
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	14,641
特別利益合計	116,478	18,512
特別損失		
固定資産除却損	38,441	36,602
災害による損失	—	71,363
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	504,813	—
確定拠出年金制度移行に伴う損失	—	147,031
その他	132,779	—
特別損失合計	676,033	254,998
税金等調整前四半期純利益	6,296,790	8,396,597
法人税、住民税及び事業税	2,239,207	2,789,793
法人税等調整額	1,234,680	1,677,015
法人税等合計	3,473,888	4,466,809
少数株主損益調整前四半期純利益	2,822,902	3,929,787
少数株主利益	28,094	26,763
四半期純利益	2,794,807	3,903,024

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,822,902	3,929,787
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△67,815	△8,148
その他の包括利益合計	△67,815	△8,148
四半期包括利益	2,755,086	3,921,639
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,726,992	3,894,875
少数株主に係る四半期包括利益	28,094	26,763

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。